

### Ⅲ デジタルイノベーションの推進

(121,004千円)

ひろしまデジタルイノベーションセンター推進事業

(国・県・自 121,004千円)

#### 【事業目的】

現状	○第4次産業革命が進展するなか、地域企業が生産性を向上し国際競争力を強化するためには、デジタル技術（MBD など）を活用した取組を本格的に導入する必要がある。
課題	○デジタル技術を活用した取組を本格的に実施するための環境が身近になく、利用開始のハードルが高い。 ○高性能計算機能や、多種に及ぶソフトウェアは高額であり、企業単独での導入は特に中小企業にとって困難。 ○CAE ソフトウェアを活用した解析ができる人材が、地域企業に不足している。 ○経営者、開発従事者の双方において、MBD・CAE を自社に導入する必要性に関して十分な理解がない。
目的	○高性能計算機能と必要なソフトウェアを従量制により安価に利用できる環境を提供する。 ・拠点を整備し、地域企業がデジタル技術活用を開始するハードルを下げ、地域企業全体への普及を促進する。 ・地域企業が持つ技術課題の解決に向けて、デジタル技術を活用した支援を行い、実際の活用に繋げる ・デジタル技術に関する人材育成を行い、活用に必要な人材を確保する。 ・CAE ソフトウェアを活用した解析の高性能計算処理ができる人材、MBD の考え方を企業に導入できる人材 等 ・デジタル技術を地域企業に導入するための啓発を行い、機運を醸成することで、CAE の導入を増やす。

#### 【事業概要】

- ◇高性能計算機能及び必要な CAE ソフトウェアの安価な利用環境を提供する
- ◇デジタル技術に係る拠点として、広く技術課題解決のニーズに対応し、地域企業の活用を促進する。
- ◇デジタル技術を活用するために必要な人材育成を行い、人材を確保する。
  - ・MBD の基本的な考え方を理解し、開発プロセスを俯瞰できる人材
  - ・ソフトを活用した解析の高性能計算処理ができる人材 等
- ◇デジタル技術の活用に関する機運を醸成する。(啓発セミナー、交流イベント、利用説明会 等)  
コロナ禍の中で、リモート利用・オンライン研修など、接触がないサービス提供方法を積極的に導入していく

	概要
デジタル技術を活用する環境の提供	(高性能計算機能・ソフトウェア) ・高性能計算機能の整備（スパコンのクラウド利用環境及び高性能なワークステーション） ・シミュレーションの目的に応じたソフトウェアを、複数整備 ・リモート利用等各種利用者のニーズに合わせてサービスを提供できる人材を配置
技術課題解決支援	○地域企業の課題に対して、デジタル技術を活用した解決を支援する。 産業支援機関及び大学等に連携した対応を働きかける(サイエンスパーク立地の強み)
人材育成	○人材育成に必要な研修等を体系的に実施 ①MBD 関連研修（プロセス研修、アドバンスド研修、エキスパート研修） ②解析技術毎のソフト操作の基礎・応用技術を習得する研修及び現象理解を深める理論研修（地域企業の個別のニーズに対応できる研修の実施 等） ③長期間のグループ研修（グループ内で協力しつつ実際にソフトを活用できるまで指導） 生産領域から設計領域へ対象を拡大して人材を育成する
デジタル技術利用促進	○啓発セミナー、交流促進イベント、利用説明会 等

【年間目標】

	目標								
MBD/CAE 活用企業数	<p>○R10 までに段階的にステップアップを図る            導入から活用フェーズへ 高度化フェーズへ 高度活用へ</p> <table border="0"> <tr> <td>自動車関連</td> <td>+34 社 (25 社)</td> <td>+18 社 (16 社)</td> <td>+6 社 (14 社)</td> </tr> <tr> <td>自動車以外</td> <td>+48 社 (16 社)</td> <td>+20 社 (29 社)</td> <td>+10 社 (0 社)</td> </tr> </table> <p>(※カッコ内は、取組開始時の状況)            (ヒアリング結果等を反映し、R4 年度中に改めて整理する)</p>	自動車関連	+34 社 (25 社)	+18 社 (16 社)	+6 社 (14 社)	自動車以外	+48 社 (16 社)	+20 社 (29 社)	+10 社 (0 社)
自動車関連	+34 社 (25 社)	+18 社 (16 社)	+6 社 (14 社)						
自動車以外	+48 社 (16 社)	+20 社 (29 社)	+10 社 (0 社)						
デジタル技術活用環境の提供	<p>○利用日数 850 日以上 (企業が各ワークステーション等を利用する日数)            【開所日利用上限の 40%相当 : 850 日 ÷ 260 日 × 8 台 × 40%】            (R3 636 日【2 月末 : 以下同】)</p> <p>○新規プロジェクト 15 件以上 (R3 18 件)</p>								
技術課題解決支援	<p>○技術課題解決支援 30 件以上 (R3 36 件)            うちセンター利用開始案件 6 件以上 (R3 10 件)</p>								
人材育成	<p>○実施テーマ 37 テーマ以上 参加者数 765 名以上 (R3 27 テーマ、536 名)</p> <p>①MBD 関連研修 ・実施テーマ 14 以上 ・参加者数 210 名 (R3 9 テーマ、184 名)</p> <p>②CAE 研修 ・実施テーマ 16 以上 ・参加者数 500 名 (R3 12 テーマ、293 名)</p> <p>③デジもの塾 ・CAE 塾 ・実施テーマ 7 以上 ・参加者数 55 名 (R3 6 テーマ、59 名)</p>								
デジタル技術利用促進	<p>○実施テーマ 10 テーマ以上 ・参加者数 200 名以上 (R3 9 テーマ、242 名)</p>								